

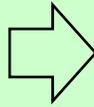
法人化により高位安定的な農業経営を推進し地域農業に貢献 ～(株)十勝六花フィールド副代表 吉田岳大氏〔池田町〕～

経営体の概要

事業実施前：平成20年（個人）

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、かぼちゃ

経営面積：25.5ha



事業実施後：令和4年（法人）

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、かぼちゃ、
やまのいも、山わさび

経営面積：170.4ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本事業による排水改良により、これまで課題であった農地の湛水による生産性低下の解消と農作業の効率化が図られたことを契機に、経営規模拡大を進め、作物の単収向上と自動操舵トラクター等による一層の効率化が進められてきている。また、令和3年には近隣農家と持続的な経営を目指し複数戸共同の法人を設立し、周辺離農跡地継承等により更なる規模拡大と農作業機械の共有や協働による高位安定的な農業経営とともに、農業を通じ人材育成や地域雇用にも貢献している。

営農改善のポイント

①法人化

将来的な労働力不足や農作業機械の更新等の経費増嵩に備え、令和3年に法人（十勝六花フィールド）設立。社名は構成員が畑作農家ら6人による共同由来。離農者等の農地取得などにより経営規模を拡大しつつ、後継者への事業継承や雇用環境の創出、若者の農業への関心の醸成や人材育成などに取り組んでいる。



構成員等によるやまのいも収穫

②省力化

ほ場の湛水被害が解消したことから、自動操舵トラクターの導入による播種等の各種作業を行うことにより、直線状の畝立等作業精度が向上し、カルチ（畝間の除草）などその後の作業時間の軽減や熟練でない者での作業も可能となるなど効率化が図られた。また、防除回数の減による省力化が図れた。



山わさび：左側てんさい

③単収・品質の向上

湛水等による根腐れなどの被害が減少し、計画的な暗渠更新によりほ場の乾きが早くなることで防除等の適期作業が可能となり、単収や品質が向上。てんさい、かぼちゃでは単収が8,200kg/10a、2,300kg/10aから9,500kg/10a、2,700kg/10aに増収した。



かぼちゃ生育状況

事業概要

事業種：直轄明渠排水事業

関係市町：北海道中川郡池田町・本別町

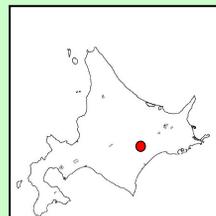
受益面積：1,014ha

事業期間：平成21年度～平成28年度

事業目的：排水改良

主要工事：排水機3箇所、排水路5条L=4.0km

位置図（北海道）



利別川左岸地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業計画課 計画第1係

電話：011-709-2311

（内線5522）

（令和4年度調査時点）